

- ◇確かな**学力**を身に付け、生徒の志望を**達成**させる
- ◇社会人として**自立**できる**人間**づくり
- ◇生徒 保護者 地域から**信頼**され、**選ばれる**学校づくり



登米高通信

《目指す生徒像》＝将来にわたって活躍できる**土台**を備え、**地域**を支える人材の**育成**＝

校訓

誠実 勤勉 進取

《平成30年4月号》

4月26日発行

平成30年度 入学式挙行

4月9日(月) PTA 会長の菅野忠美様、同窓会長の佐々木康明様をはじめ多数のご来賓のご臨席のもと、第73回入学式が行われました。99名の入学生の名前がクラス担任から呼名されたのち、鈴木秀利校長から入学が許可されました。新入生を代表し、1年3組及川莉来さん(東和中出身)が宣誓を行いました。

〈私たち新入生99名は、宮城県登米高等学校に入学を許可されました。つきましては校規を厳守し、生徒としての本分を守り、文武両道に、切磋琢磨することをここに誓います。〉

本校は2年後に創立100周年を控えており、これまでの長い歴史と伝統を背負う厳粛さの中に、これからの希望に満ちた雰囲気の中で新入生99名を迎えました。生徒会役員・野球部・ソフトテニス部による澁刺とした校歌紹介の場面もあり、平成30年度の清々しいスタートとなりました。



入学式で代表宣誓をする及川莉来さん

新入生歓迎！ 対面式&部紹介

4月10日(火)今年度、生徒会行事の最初となる対面式・部活動紹介が行われました。吹奏楽部の歓迎演奏にあわせて、騎手3年の齋藤圭真君を先頭に、新入生99名が真新しい制服



で入場。生徒会長の石川愛那さんが「私たちは新入生のみならず、登米高校の新しい歴史を創っていきたい」と歓迎の挨拶を述べました。

次に新入生を代表して、1年1組芳賀海斗君(登米中出身)が、「1日も早く登米高校での学校生活に慣れ、登高生の自覚を持って先輩方の後姿を見ながら、これからの登米高を盛り上げていきたい」と力強く誓いの言葉が述べられました。部活動の

紹介に移り、各部が趣向をこらした企画で、部の魅力を発信、入部を訴えるパフォーマンスあり、作成した独自PR動画ありで盛り上りました。



《新年度の御挨拶》

登米高等学校長 鈴木 秀利

このたび、登米高等学校校長に着任いたしました鈴木秀利です。よろしくお願いたしました。本校は、大正九年に登米の方々の熱望によって女学校として誕生しました。その後、幾多の歴史を経て、二〇二〇年に創立百周年を迎えます。

学校は一人一人の生徒がさまざまな学習活動を通じて「確かな学力」を身に付け、それぞれの自己実現を遂げていく場です。毎時間の授業を分かりやすく工夫することはもちろん、教職員が心を一つにして、生徒それぞれの思いや願いに寄り添い、一人一人が安心して学び、成長できる学校を築いてまいります。

その上で、学校目標となる「将来にわたって活躍できる土台を備え、地域を支える人材の育成」を目指し、日々の教育活動に誠心誠意あたっていく所存です。保護者の皆様、地域の皆様方と同じ目線に立ち、ともに手をたずさえながらよりよい学校づくりに邁進してまいります。と思いますので、今後とも御理解御協力をお願いいたします。

「登米高通信」は、保護者の皆様や米町の皆様方に対して、本校生徒が学習活動に生き生きと取り組む姿をお伝えするために定期発行してまいります。これからも本通信が学校と保護者・地域をつなぐ情報の懸け橋となることを念願しております。今後とも、本校への御支援をよろしくお願い申し上げます。

ようこそ、登米高校へ！

今年度、登米高校に新しく着任された15名の先生方です。
どうぞよろしくお願いいたします！ (敬称略)

職名	氏名	前任校	担当教科等
校長	鈴木 秀利	県スポーツ健康課	
教諭	梅村 秀俊	石巻市立桜坂高	保健体育・テニス部
教諭	阿部 聡	石巻好文館高	国語・バレー部
教諭	三浦 浩美	気仙沼西高	英語・美術部
教諭	大野 淑美	伊具高	国語・吹奏楽部
教諭	中川 貴仁	新規採用	理科・カヌー部
教諭	工藤 大将	新規採用	保健体育・カヌー部
講師	佐藤 拓摩	本吉響高	保健体育・サッカー部
事務室長	高橋 秀一	気仙沼西高	事務室
技師	鈴木 孝	登米総合産業高	事務室
非常勤講師	白鳥 善也	加美農高	国語
カウンセラー	滝川 雅啓	古川高	相談業務
地学地就連携	中川義二郎	登米総合産業高	就職支援業務
教務補助	橋上 忠和	新規採用	事務室
事務補助	及川 正紀	新規採用	事務室

登米高生 ボランティアで活躍

【野球部 大阪へ】 3月23日(金)～3月26日(月)



本校野球部は3年目となる、気仙沼高校野球部と合同の大阪府茨木市での親善試合「がんばろう！つばさネットワーク」に招待参加し、野球交流を深めてきました。

被災地東北との野球交流を通じた支援を目指すこの企画を通じて、野球部員は、茨木市内のご家庭にホームステイをしながら交流試合のほか、さまざまな交流イベントにも参加、東北の元気と登米高校野球部の元気をPRしてきました。

【to me スマイル隊】校内活動 3月12日(月)



昨年7月に結成された、本校の防犯ボランティア「to me スマイル隊」活動ジャンパーが出来上がり、お披露目をかねて交通安全の呼びかけを実施。

生徒たちは真新しいジャンパーを着用、昇降口でチラシを配布しました。このデザインは生徒会の考案で、白地の背中に、黄色と青の登米高ロゴマーク。フレッシュ感あるとても素敵なデザインです。



103歳 近江タミ子さんを 表敬訪問しました

現在103歳の近江タミ子さんは大正3年生まれ。登米高校の前身の登米高等女学校第一回卒業生で、本校の大先輩です。昨年度末、石巻市在住の近江タミ子さんを同窓会の佐々木康明会長、本城房子石巻支部長、本校写真部らが表敬訪問しました。女学校当時は、柳津のご自宅から片道5km以上の道のりを徒歩通学、無欠席だったそうです。途中から、北上川に汽船が運行され、船で通学したということ。部活動はテニス部に所属。「昭和二の年春四月…」という登米高女の素敵な校歌が忘れがたく、今でも時折口ずさむそうです。



そんなタミ子さんを有名にしたのが「タミパン」。タミ子さんが家庭でよく使っていたパン焼き器を、長女・洋子さんの嫁ぎ先である岩手県水沢市にある及源鋳造で商品化。南部鉄器製の素敵なパン焼き器としてテレビ等でも話題となり、人気商品となりました。近江タミ子さんにはますますお元気に、これからも長生きしてほしいと願います。



表敬訪問で取材をした写真部2年 佐々木郁哉君の感想

タミ子さんは103歳とは思えないほどお元気でした。何より驚いたのはその記憶力です。今も登米高女の校歌や友人関係、ご近所の話などしっかり覚えています。そしてタミ子さんは周りの人に今こうして生きていることに心から感謝しているようでした。きっとその感謝の気持ちを忘れないことが、長生きの秘訣なのだと感じました。

PTA総会・PTA総会報告会へ 多数のご参加ありがとうございました

4月21日(土)、PTA総会が開催されました。授業参観には朝早くから多数の保護者の皆様にご参観いただきました。参観後PTA総会が行われ、165名の会員参加となりました。菅野忠美会長の挨拶後の協議で、新PTA会長には秋葉加織様(東和支部)他、役員の方々が承認されました。そして特別企画として「吹奏楽部ミニコンサート」。本当にすばらしい演奏に心おみしました。翌24日(火)午後6時よりPTA総会の報告会が行われ、55名の保護者が参加。合計220名の参加となり盛況のうちに終了しました。

